

■ 検討協議会に寄せられた意見（意見用紙から）

※原文のまま記載 / ※無記名による意見提出は記載していません

回次	提出者	内容
第5回	委員	<p>今回提案された新築案（本案）について、図書館を主体とした複合施設ですが、下記の点で「賑わい創出」としては難点があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館主体の複合施設として「賑わい創出」の基点になる為には、1階は図書館ではなく多目的スペースや交流スペースを設け、一般観光客や通行人が気軽に入れる雰囲気を作るべきである。 2. 図書館は2～3階に設けて、学習室や研修室などにスペースを与え、図書館としての機能を充分発揮できる仕様にすれば、図書館への来館者も増やせるのではないか。 <p>参考資料の消防本部跡・城北駐車場敷地利用計画で、図書館新築の設計図ですが、消防本部跡に図書館を新築することはできませんか？ハザードマップで浸水危険地域になっている駐車場に建設せず、地形的に段差はありますが、駐車場に建設せず地形的に段差はありますが、消防本部跡地に建築したほうが、城北駐車場も有効活用できるし、万一浸水が発生した場合でも蔵書は守れると思われます。</p>
	委員	<p>NHK報道にもあった図書館運営を公的か民営かで異なるが、大きな出費を覚悟してやらないと大変な事になる。安易なにぎわいのみを考えず、確かな計画を示して欲しい。単に喫茶しながら楽しめる空間を考えていれば必ず失敗するでしょう。いそ観光客を目的とし、その中で市民も楽しく集える場所と考えて計画の方が現実的に思える。（ハイトピアなど一部学生が使っているのが予備校への時間待ち程度ではないのか？喫茶、食事の出来るにぎわいの場の方が合っているかもしれない。</p> <p>又、新築とすれば災害時の市民収容可能なしっかりした建物として市民の安心・安全をめざしたものであれば市民の賛同を得やすく役立つのではないか。駐車場を可及的大きく取るのは賛成、漠然とした図書館計画は心配。</p>
	委員	<p>本委員会は「にぎわい創出検討委員会」として発足。中心市街地の活性化の為、上野公園周辺地域・市庁舎地・上野市駅を、市街地の核にし、これからの中心市街地をどの様に描くかを目的に、市の提示するランドデザインを基に議論を進めてきました。この趣旨に沿いA-1・A-2、B-1・B-2案から協議された結果、今回の新築案1・2、改築案1・2であります。</p> <p>以上をふまえ、新築-2案を推奨します。北庁舎跡地に図書館を新築、老朽化し改築・維持修理にいくら掛かるか解らない南庁舎は撤去、さっぱりした駐車スペースとし、これを多目的な使用により地元市民や観光客の利便性を図る事が最善の方法です。図書館は学問場で、完成すれば都市区画から見ても丸之内通りは中学・高校・小学校・図書館・裁判所・郵便局本局・銀行がずらりと並ぶ文教通りとなり他に例を見ない町並みとなります。分散を進めるのではなく、集約化を図る事が賑わいを創出する原点です。</p>

回次	提出者	内 容
第5回	委員	<p>○南庁舎新築（案）資料3と既存建築（副案）については、新築案が約6億円の増額とされている。一方、新施設に入居する施設は断面イメージ等で比較すると、何れも同様の機能が入居できるため、駐車場の利用台数増約60台のために6億円を使用することに匹敵すると考える。旧庁舎の存続を求める声も多くある中では、改めて南庁舎の改善方法を検討する必要があると考える。また、芭蕉翁記念館は旧来ある機能をすべて一か所に統合して整備することが求められているが、観光客等が集まる中心施設を「南庁舎の新設や改築が検討された結果の複合館」に求めようとする施設であるため、来客者が俳句や芭蕉翁に興味を抱き、記念館に行きたくなるような仕掛けの施設は最小限設ける必要があると考える。</p> <p>○このように考えれば新規の芭蕉翁記念館は、資料館やこれに付随する物だけで良いことから旧図書館で十分活用が可能で、内部の改善で取り壊す必要は生じないと考える。</p>
	傍聴者	<p>第5回の協議会を傍聴させていただきご意見を申し上げます。</p> <p>第4回協議会において「今後の方向性を決めないと前に進まない」とのことから、南庁舎を取り壊すべきか、保存すべきかのアンケートを取られ、結果としてA案、B案とも解体・新築案が多数を占めました。しかしなら副案として「既存建物活用案」が示されておりました。結果を重んじられるのであれば今後、解体して新築を前提に議論されるべきです。新聞報道によりますと「南庁舎の保存を訴える人もいたので副案として残した」というコメントがありますが、このことは2案併記での答申を意味するものと解釈できますが如何ですか？</p>
	傍聴者	<p>会議も5回目となり新築案が出されるところまでやってきました。</p> <p>南庁舎は壊す方向になってきていますが、浅野委員のお話を聞くにつれこれからの伊賀市に話題性を持つものとして残してもいいのではと思ってきました。</p> <p>会議の内容としては高倉委員の仰ったことで全てがまとまっていたと思います。</p> <p>芭蕉翁記念館も伊賀にしかできない、他のところの記念館の二番煎じでない物を期待します。</p> <p>観光客を呼び込む施設を心配している委員さんが多いですが、それならばだんじり会館や、民族資料館を見直せば庁舎跡地の建物に頼らなくても今からすぐに出来るのではないのでしょうか。</p> <p>もちろん図書館との複合施設が出来ればもっと観光客は呼び込めると思います。</p> <p>最近メディアで何かと取り上げられている公共図書館ですが、出席されていた委員さんの中にも発言されていた方が居られましたが、中身についてはこれから大いに議論していただくもので、「明日の伊賀市図書館を考える会」で私たちと一緒に考えて行きましょう。どうぞお待ちしております。</p>

回次	提出者	内 容
第5回	傍聴者	<p>○庁舎敷地の新築案と既存建物活用案の比較資料について</p> <p>両図面も敷地に関して平面的に画かれていますが、実際は敷地の北と南では3m程度の高低差があります。このことによって建物の見え方と周りの景観がかなり変わるはずなので、このことが分かるシミュレーション資料が必要ではないですか。</p> <p>新築案の場合、駐車場のレベルは建物の接地面より低くなり、駐車場から階段やスロープなどの施設を設けないとアクセスできませんがどのように解決しますか。もともと現庁舎はこの敷地のレベル差を建築計画で上手に解決していました。</p> <p>また、添付の参考図面で分かるように、この案の駐車場は西側の小学校のグラウンドと重ね合わせると、かなりの空地となり、都市空間のスケールから考えると広過ぎませんか。外来の方に対する駐車場計画で最も大切なのは、大きな空地ではなく、いかに上手に空いている駐車場に案内できるかではないでしょうか。</p> <p>既存建物活用案の建設工程計画において、現庁舎の改修工事が1年半とされていますが、これ程工期が必要ですか。耐震補強と劣化部分の工事、内装及び設備の改修と考えられますが、外装や屋上の劣化部分の改修は内部を使用しながら工事は可能ではないでしょうか。</p> <p>○それでも、有名建築を取り壊しますか。</p> <p>伊賀は他にない歴史と文化を育んできた地域だと思っています。中でも誰もが見ることができ感じることができる文化は建築物です。仏像や書画ではそうは行きません。「伊賀はいいよね。古い建物が残っていて風情があるよ。」とはしばしば訪れる友人の言葉です。古い建物を残してくれたのは、たまたまかもしれませんが先人のお陰です。その歴史の上に今の私達は生活し、そして誇りを感じているのではないのでしょうか。その思いを感じる時、そう簡単に古いからと言って簡単に取り壊すのはいかがでしょうか。例えば古い我が家が雨漏りし、外壁が崩れてきたらどうしますか。時代と共に生活様式が変わり使い勝手が悪くなっていたとしても、まず専門の建築士か工務店や大工に相談しませんか。今はリフォームの時代です。テレビ番組の「劇的大改造ビフォーアフター」はかなりの長寿番組ですが、見違えるばかりにきれいに建物が生まれ変わっています。地震が心配ならリフォームに合わせて耐震補強や断熱工事もすることも出来ます。願わくは以前から点検修理しておけば劇的大改造にはならなかったことでしょう。と言っても個人の家の話で、公共の建物はそうは行かないのが常で、最後までほっておかれます。その結果、にっちもさっちもいなくなるのです。ヨーロッパでは数百年に亘って建物を維持管理されてきました。地元では古い建物が並ぶ地域の方が不動産価値が高いとも聞きます。そのおかげで私達は旅先でヨーロッパの歴史文化を味わうことができます。また日本の町並みや古寺なども同様に幾世代にも亘ってメンテナンスされてきました。おかげで私達は古い歴史を感じることができるのではないのでしょうか。現代は古い建物を保存再生する時代になってきていると思います。</p> <p>コンクリートの歴史は古代ローマに遡ります。道路や水道橋、コロセウムなどの構築物はコンクリート製でした。それに補強材として鉄筋を加えて建築材料の主流となったのは19世紀の終わりです。以来建築物の根幹として使用されるのは全て鉄筋コンクリートです。鉄骨造でも木造でも基礎には鉄筋コンクリートが使われています。外壁や屋根などが綺麗に修理されたコンクリート建築はいくらでも有ります。コンクリート修理の需要があればこそ、その修理技術が進歩します。建築の工事関係の出版物にも多くの修理工法が記載されています。以前は現市庁舎と同じ杉板の型枠を使った打ち放しが汚れて黒ずんでいましたが、私達の目の前のビル、N T Tの建物はいつの間にか綺麗になっています。</p>

まちにはそれぞれの個性があります。昨年雑誌 A E R A は伊賀市を「移住しやすい街 2 3」に選んでくれました。全国から注目されるまちになった訳です。他のまちにはないものを大切に、他のまちとの差別化を図らなければなりません。幸いこのまちにはモダニズムの坂倉建築があります。モダニズム建築はレンガ積みでもなく装飾的でもない非常にシンプルな形で、化粧されずに素材がそのまま表現され、どこにでも有りそうな建物だから大切にされてこなかったのかも知れません。モダニズム建築は長い建築の歴史の中で、1900年代の主流となり世界に伝播しました。工業化と装飾を廃した合理主義の時代を向かえたからです。しかし現代はポストモダンと呼ばれる時代で建築デザインは百花繚乱になり、モダニズムは数が少なくなり今や歴史的建築物になっています。だから建築関係の学者や文化庁までもが希少価値として注目し、見学に訪れる人もいます。江戸時代の民家がそうであるように、その時代には当たり前で数多くあった建物が年月を経て稀少なものとなり生きていたら、それが文化財です。伊賀市庁舎が「※ドコモジャパン」に選定されたり登録有形文化財候補になるのはそう言う理由からです。同じく坂倉準三が設計した鎌倉の近代美術館は閉鎖になりますが建物本体は保存されることになりました。伊賀市庁舎の建物が残れば鎌倉と伊賀、東西のモダニズムの双壁になるのではないのでしょうか。

新築と活用の建築費の概算比較がありました。24.4億円と18.5億円で差額は約6億円でした。合併特例債を使えば自己負担は約3割で差額は1.8億円になります。この差はたいした差ではないと思いますか。1.8億円は庶民にとっては高額です。これを他の使い道に使うことも考えられます。例えば子育て支援やお年寄りのために使ったら伊賀市はさらに住みよいまちになるかもしれません。「もったいない」は世界に通用する言葉になっています。伊賀市の財政は今火の車のはずです。少しでも節約したり、ソフト事業に使う方が良いと考えるのは私だけでしょうか。

協議会の意向は図書館や観光施設を現市庁舎位置に考えようという方向にあるようです。この施設を市民と観光客も一緒に利用できる情報センター「メディアセンター」と大きく捉えるように考えてみてはどうでしょうか。このような考えは最近まちづくりの核施設として仙台や岐阜など幾つかの都市に登場してきています。この場合、必要なものを新しくレイアウトをした方が、既存の器に無理してはめ込むより自由度が高く良いものができると思いますが、いづれにしても建物には床と屋根がありこれらを支える柱が必要です。これらをどのように配置するかを考える、つまり建築空間を設計するのは「建築家」であって、その力量つまりセンスと能力にかかっています。坂倉作品を活用、再生させるのは建築家の勇氣あるチャレンジで、これが成功すれば大きな付加価値が生まれ、注目の的になると思いますでしょうか。

現在、伊賀市では歴史まちづくり法にもとづく「歴史的風致維持向上計画」を策定中です。

この法律は文化庁、国土交通省、農林水産省がタッグを組んで取り組むまちづくり法です。わざわざ国に声を掛けていただき取り組んでいるものです。どこの町でも手を挙げられるものではなく、国の文化財を核としなければならぬかなりハードルの高いプロジェクトです。全国で京都、奈良、金沢、萩など51箇所、県下では亀山、明和が認定されています。伊賀市もこの仲間に入れそうです。国史跡上野城跡を中心とした城下町が伊賀市の対象エリアの一つで、他にも青山、島ヶ原も対象エリアと考えられており、市域全体に歴史的風致地区が広がっています。上野地区の城内には文化財の上野城、俳聖殿、藤堂家所縁御殿の御門があり、他に愛間邸（田中善助翁所縁）、芭蕉翁記念館（建築デザインとして優秀）。城山の麓には江戸期の崇広堂、藤堂藩旧武庫、明治期の上野高校明治校舎が並んでいます。少し離れますが明治の旧上野警察署、大正の上野市駅、江戸の菅原神社楼門・鐘楼があります。これに昭和の現伊賀市庁舎や西小学校、レストハウスが加われば、江戸、明治、大正、昭和と400年間に及ぶ歴史博物館となります。伊賀は戦災にあわなかったおかげで、これだけの重層的な文化を受け継ぎ発展させることが出来ました。この文化を次の世代にバトンタッチすることは私達の責務と考えます。「※時代の風潮は古いものを惜しげもなくほうむり去り、国土を商業主義の餌食にしかねないいきおいである。上

	<p>野の町だけは世界に誇る芭蕉を生んだ町にふさわしく、静かでしぶいまちのたたずまいを大切に、いつまでも人のこころをゆたかにする町であってほしいものである。」と語ってくれたのは、郷土の大先輩増田四郎先生です。この気持ちをいつも持っていたいものです。</p> <p>今ここでこのように価値ある現市庁舎を取り壊すと結論付けしたとしたら、もったいないと思いませんか？ 次の世代の人たちはどう思うのでしょうか？</p> <p>※ドコモジャパン「モダンムーブメントにかかわる建物と環境形成の記録調査および保存のための国際組織」の日本組織</p> <p>※増田四郎「ふるさとの山河」上野市編「伊賀上野」淡交社、1966年</p> <p>「残すべき建築」松隈洋著より再掲</p>
--	--

回次	提出者	内 容
第5回	無記名	<p>○南庁舎の取り壊しには大賛成です。</p> <p>・議会が行った自治協議会の多くが取り壊しです。</p> <p>・取り壊さないとしたら、南庁舎の耐震などの改修費、図書館として整備費などで、19億円もの費用が必要となります。</p> <p>○「賑わい創出」として提案されている市民向けの図書館、観光客への観光案内所などを併設した施設は、言わゆる「二兎を追う物は一兎も得ず」になると考えます。</p> <p>・図書館では市民生活を中心とした賑わい創出は難しいです。現在の図書館の利用状況は如何でしょうか。また、他市で試みられている民間への委託をしたとしても期待するほど利用率は上がりません。お年寄りの福祉、年金、若いお母さんの子育ての相談にのる施設ならともかく。</p> <p>・観光を中心とした賑わい創出を目標とした施設にしては、お粗末です。果たして、観光客は二階、三階まで上がって組紐、伊賀焼の体験をするでしょうか。</p> <p>○それならいっそのこと新庁舎をここに建設すべきです。</p> <p>・現在の本庁舎は上野支所の役割は如何するのでしょうか。四十九へ移転されたが、これまでの上野支所の役割は如何するのでしょうか。現在、ハイトピアに名ばかりの上野支所がありますが、先に述べたお年寄り、若いお母さんの相談は全て現庁舎で行っております。今後は、弱者と言われるお年寄りなども四十九へ行かなければなりません。</p> <p>・例えば、市は上野支所を充実させる、と言われると思いますが、それなら、本庁舎は小さくて良いのではないのでしょうか。あのような700台近い駐車スペースも必要ありません。これらは新たに土地を購入して設置されます。</p> <p>・南庁舎が取り壊され、空き地ができるわけですから、市民生活を中心とする賑わい創出には本庁舎が最適です。費用的にも、3億5千万円の用地購入費、加えて造成費等が必要なくなります。市は、現在位置では必要とする駐車場が確保できない、と言ったことも移転理由に挙げておりますが、合併当時と職員数もさほど変わらず、さらに、市では今後職員を減らしていくとも言っており、駐車場が足りないとは如何でしょうか。城北駐車場、消防署跡地も利用出来るわけですから。</p> <p>・また、移転理由の一つに高さ制限があると言われておりますが、これは市条例の改正で済むわけです。優良農地を潰し、土地収用法まで適用し、都市計画法を湾曲して適用させる必要がありません。湾曲というのは、都市計画法では、市街化区域に適当な用地がない場合は許可するとありますが、南庁舎が取り壊されれば適当な用地が確保できるわけです。これまで、南庁舎有きでの移転です。</p> <p>・また、国が強く推し進めているコンパクトシティー、さらに、これまでの中心市街地活性化事業に合致します。四十九では、市街地の二極化が必ずおこります。このことは、土地収用法の説明会で市庁舎の北側が市街地化が進むでしょう、との市職員の説明でした。</p> <p>○議論された図書館は、現在地の駐車場の土壌増築をされ、不足すると思われる駐車場スペースは、お天神さんの北側をお借りするなどで対処できます。</p> <p>○また、芭蕉記念館は当初の計画通り桃青中跡地へ建設。桃青丘幼稚園の前は観光バスも十分通行可能です。</p> <p>○提案された観光案内所や体験コーナーは、現在の民族資料館の新築、改築されることで解決します。図書館の増築などを含めても22億円も要</p>

		<p>しません。</p> <p>◎これまで述べたように移転条件が変わってきました。貴協議会におかれてはこれらを熟慮され、最終案に庁舎建設も加えられんことを切に要望いたします。</p>
--	--	---

回次	提出者	内 容
第5回	無記名	<p>アンケート結果は南庁舎解体・新築が圧倒的に多かったので、本案（新築案）のみの提示でよかったのではないか。</p> <p>市長は記者会見で「南庁舎を壊すか、壊さないかは諮問していない。いささか暴走気味・勇み足だ」と批判したが、この発言は、忙しい中時間を割いて会議を重ねてきた協議会メンバーを冒とくするものだ。</p>